

年刊現代詩集

'80下半期



芸風書院

年刊現代詩集 '80 (下)

1980年12月10日 発行

¥ 2,600

編 者 年刊現代詩集編集委員会

発行者 萩 原 勉 夫

発行所 (株) 芸 風 書 院 内

年刊現代詩集編集委員会

東京都文京区本郷 1-15-4 文京尚学ビル

電 話 (03) 814-9591 (代)

振 替 東 京 0-4 7 8 4 1

表紙デザイン・倉持正 レイアウト・伊奈克平 印刷・㈱上野印刷所

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

年刊現代詩集'80(下)

—全國主要詩誌代表詩人集—

芸 風 書 院

年刊現代詩集'80 (下) 目次

汝はかなし
 星二題
 わがイドラ
 幻影
 からすうり
 遇客
 闇に向かつて
 幸せな貴女
 愁い
 木端仏
 砂の上の一日
 紫陽花
 来訪者
 川の虫
 The Inner Trip—旅—
 罌粟

安芸 信広…14
 安土 文子…14
 安保 賢一…15
 阿木 龍一…17
 阿部 栄子…18
 阿部 堅磐…19
 我妻 洋…21
 青木 誠…21
 青笹 信夫…22
 青山 隆弘…23
 赤井 喜一…24
 秋 太郎…25
 秋元 敦子…26
 秋本 和伸…27
 秋山 末雄…27
 浅見とよみ…28
 朝生その子…29

喜歌劇
 静のナカ
 ヤコブの夢
 だから紙飛行機を
 食事考
 緑眼の鹿
 梅雨明け
 カーネーション
 大山は時雨
 埴輪
 自然詠連
 内職
 花より先に実のなるような
 摩周湖
 シルエット
 羊歌
 月夜
 炎
 風
 貝塚

朝比奈克子…30
 葦原 中彦…30
 油田 敦彦…32
 網谷 厚子…33
 綾部 清隆…35
 綾部 健二…36
 荒木 義雄…37
 新井 均二…38
 いいだすすむ…39
 いずみひろし…40
 井田 栄一…41
 井上かつこ…42
 井上 みさ…43
 井ノ口永一…44
 井本健一郎…45
 伊田 耕三…46
 伊藤 昭子…46
 伊藤 勲…47
 伊藤 貞彦…48
 伊藤眞理子…49

小サナコトモ

通学路

氷柱

おれのカンヴァス

奴

傾いた丘

町角

鴉群の告知

ひまわり

不肖の弟子は

角度360度の天に向って

伊木山

憧れ

蜘蛛の糸のように

慌てることはない

生態ピラミッド

筒花生

54・6・20

徘徊

哀歌 月明が薄暮を浸すとき

伊福 重一…50

飯島 秀…51

飯島 右子…51

池端 秀介…52

石井 藤雄…53

石川 正夫…54

石川三恵子…55

石出 和…56

石村 柳三…57

磯辺 貝…58

板谷 政典…59

稲垣秋次郎…60

稲原 守夫…62

乾 秀也…62

今井 朝雄…63

岩 太郎…64

岩泉 晶夫…65

岩木 山緑…66

岩崎 豊市…66

岩崎 直哉…68

田野畑鹿踊幻想

有神論

結納

祈り

人形

大悲の親心

逝ってしまったひと

女の顔

荷車

火花クダサイ

死化粧

それでも

どぶねずみのヒゲただいま係累なし

死亡広告

妙子へ

追弔の詩

心よ

ドレイ

天気予報官の眼

岩見 百丈…70

宇野 雅詮…72

鶴野 梅子…73

上田千鶴子…74

上田 良江…75

上野 袖子…76

上林 秀雄…78

牛島美千代…79

臼井 澄江…80

空木 紫音…81

海 夕陽…82

優麗 星良…83

えぬ・まさたか…84

江部 俊夫…85

榎本 了…87

遠藤 修平…87

遠藤 富子…89

おおら男…89

小川アンナ…90

美しい明日
 渚にて
 日常
 楨兄への鎮魂歌
 桜
 造花崩剝―僕等少国民―
 夫とくらして四十年
 旅
 實感
 まないたのふるさとは
 海の道
 道
 猫と車
 帰路
 詩神
 壺
 黒板
 風
 街―犬の話―
 錯綜する情景

小沢 恵子…91
 小沢真沙夫…92
 小野 龍一…94
 小柳 俊郎…94
 緒方喜久子…95
 織田 三乗…96
 大賀 富子…99
 大久保テイ子…100
 大久保友博…101
 大久保文美子…101
 大倉 昭美…102
 大路今日子…103
 大重 辰雄…104
 大高ゆきを…104
 大滝 清雄…105
 大谷 暎子…106
 大貫 喜也…106
 大橋三千代…107
 大原 美代…108
 大平 良章…109

ストリップ劇場で
 試練
 時の地層
 海水浴場にて
 さざなみ
 紙コップ
 クリスタル
 海辺の肘掛椅子
 ぬくもり
 秋
 無意識の反逆
 反る静物
 夜明けのバラード
 研究室から海へ
 騎馬王の裔
 忘却の歌
 流れには深く
 母
 幻想の窓
 愛と死と（その五十一）

大広 行雄…111
 大道 照代…111
 大森 隆志…112
 太田 明…112
 太田 隆夫…114
 鳳 真治…114
 岡 素雅子…115
 岡田美恵子…116
 岡本美代子…117
 岡本 守三…118
 沖本 由紀…119
 荻崎 雅敏…120
 かわらだ・たづ子…120
 加瀬 雅子…121
 加藤 茂…122
 加藤 廣行…123
 甲斐ゆみ子…124
 香月 孝彌…126
 香山 雅代…127
 葛西美枝子…128

生きかわり死にかわり
 貝塚
 弥生壺
 池袋駅三番ホーム
 草むら
 輪廻
 初秋のしずかなる風音
 愛
 季節と共に
 愛の道程
 森
 海に流れた紙
 駅前広場
 卵連想
 坑口のある街
 石の由来
 けらく恋しや、なんとこのう
 赤い夏
 紫陽花
 返書

笠原 昇…129
 笠原三津子…130
 風間 晶…131
 風間 光作…132
 春日 辰巳…133
 金子志津子…133
 金子 孝子…134
 神山 一郎…135
 神部 亮…135
 荻葉 里…136
 川本 洋子…137
 河合 俊郎…139
 河井 博信…140
 河上 鴨…142
 きしはるお…142
 きむゆんほ…143
 木下 幸江…145
 木村 恵子…145
 菊池 有記…146
 岸田 邦子…147

かわりめ
 ぐうたらの日々に
 蔓
 へちま
 初なり
 ある朝に
 みせ
 雨
 駅のある風景
 四月も終る頃
 無題
 バス
 早春譜
 パッセージ I
 鎮魂の詩
 眠れぬ夜の悶え
 ちんちん電車への挽歌
 夥しく降る雪
 変身譚
 花ごころ

岸田 真征…148
 岸本 康弘…149
 北多浦 敏…150
 北原 政吉…151
 北村 留男…152
 北本 道…153
 くすみじゅん子…154
 くれまつ三根…155
 工藤 優子…155
 国兼由美子…156
 梶瀬 利子…158
 倉岡 俊子…159
 倉田千恵子…160
 車木 蓉子…161
 黒川由紀子…162
 黒木 松男…163
 黒羽 英二…164
 桑平トキ子…165
 小坂 太郎…166
 小杉 明子…168

鬼婆切杭
 桜
 とっておきのメルヘン
 坂
 夏の便り
 ふるさとへ続く道
 ビーフステーキ
 なつ
 初孫誕生
 京都と眞理子と四月の心
 蝗
 風
 三つの花束
 玄関
 八月は何故か
 イレギュラー
 都市記憶
 自然の法則
 荊棘線
 時計が止まる

小菅 敏夫…169
 小松 弘愛…170
 小松 流螢…171
 小村 恵子…172
 小山 透…174
 高 蘭子…174
 合田 曠…175
 今 紀子…176
 近藤 緑星…177
 佐伯 清美…178
 佐川 馨…180
 佐々木千恵…180
 佐藤 愛子…182
 佐藤 旌…183
 佐藤 友紀…184
 佐藤 洋一…184
 嵯崎 笙…185
 西條 敬三…187
 齊藤 速魚…188
 齊藤 征義…189

雨と風の町
 汚レタ永遠
 組詩 女人幻想「花づくし」
 浦戸大橋
 女性
 八月の痛み
 虜囚のうたⅢ
 夜明け
 終りなき旅
 ひととき
 オランウータン
 魂の川
 雲雀
 小さな「ねがいごと」
 春の便り
 ある朝の小さなメルヘン
 秋の歌
 時
 その日
 いつもの改札口で

志々見久美子…203
 椎窓 猛…203
 茂山 忠茂…204
 下村 宏和…205
 庄司のり子…205
 白田 栄治…206
 白羽 真司…206
 須永 紀子…207
 洲浜 昌三…208
 齊藤瑠々子…190
 阪上新治郎…192
 坂本 登美…192
 坂本 稔…194
 栗林 清…195
 桜井 絹子…196
 沢 竜二…198
 沢井 洋光…199
 寒川 靖子…200
 しだかつみ…201
 志賀 和彦…202

夜景
 兆候地帯を通過する
 鳶
 元日
 振向いた牛
 眠っている男
 幾何学の三章
 夕映えの歌
 物言わぬダルマ
 父
 七月
 贗札
 水のない河(2)
 リュートギター
 牛
 歌えぬうた
 平和なニッポン
 旅へ
 塩の歌
 雷雨の後

諏訪原和幸…209
 末田 重幸…210
 杉浦 勝郎…212
 杉原 真音…213
 鈴木 茂夫…214
 鈴木 素直…216
 鈴木 哲雄…217
 鈴木 豊志夫…218
 鈴木 文子…220
 鈴木 操…220
 進 一男…221
 先崎 文枝…222
 そらやま・たろう…226
 相馬 梅子…227
 空 豊彦…229
 たかとう匡子…230
 たかはしさちこ…231
 たにみちお…232
 田中 章恵…233
 田中 保…234
 るてん
 潮騒
 立ちどまると
 蜘蛛の唄
 いま・この瞬発の・とき
 痛み
 桜桃
 自炊
 夏の終り
 僕
 メッセージ
 熱帯夜
 ヴェールの蔭に
 風船
 祈り
 湖を見に行きたい
 禱
 冷夏
 現代思考
 アロエ

田中 光子…235
 太附 義和…236
 平 巧子…237
 高 美代子…238
 高田 頼昌…239
 高野 敏江…240
 高橋 和子…241
 高村 香織…242
 高群 博子…242
 高山 悦子…243
 篁 幸子…243
 滝 葉子…245
 竹岡 範男…246
 竹原 政子…247
 竹本 高栄…248
 立原エツ子…249
 館内 尚子…251
 棚橋 民子…252
 谷内 武司…253
 地引 貧…254

ア・テンボ
わかれ
女性の職場
愛
風の便り
季節を告げる虫たち
秋
死者の霊まで
碧天
けふる
風の回想録
息子よ
夏に
悔恨
妻のふとん
尻掛の海
顔
伊賀の里
或朝
雷鳴

都留さちこ…255
塚本 静子…256
塚本 梢秋…257
司 真…257
土田泰三郎…258
綱川 タツ…258
角田 博…259
木津 武雄…260
戸原 和子…260
戸部 修…261
戸来 二郎…262
土井 和子…263
塔野 葦…264
徳本 由枝…265
富沢 吉男…266
鳥居三千秋…266
奈良 勇…267
中岡 淳一…268
中沢みかり…269
中島めい子…270

水たまりの中の空
活きるとは
山鳩と海神
かたつむり
竹のある村
輪舞
絵物語の男へ
ある図式
おなべの中で
悲望
秋
締め槌
木霊
カラフアテの笑
あさをうむ
心の想い出箱
井の中の蛙が
青春・冬
カイガラムシ
四季の言葉

中島弥生子…270
中嶋 千明…271
中条 三郎…272
中田潤一郎…274
中野 和子…276
中野朱玖子…277
中野 博子…278
中谷 俊…279
永井 君子…279
永井 正春…280
永井 宗明…281
永江野庄吉…281
永田 幸男…282
永橋 久子…282
長島 仁美…283
汀 ともみ…284
並河 文子…285
西本十三男…286
根本 昌幸…287
野木 恒三…287

愛しいバラ
 くる夏もまた
 異うばら
 湖の見える窓
 もしも女の子が生まれたら
 Pietra
 長岡百穴
 手
 みどりの伝説
 おきな山
 小さな戦車
 かげろうの日記
 朝日一日
 信州・松本城
 竹もみじのころ
 浮体
 水の国
 日常の日常
 夕立
 湖のある町にて

野口 晴美…288
 野沢 俊雄…289
 野原 藍…290
 野村 道子…292
 はつさわえりこ…292
 芳賀 一成…293
 芳賀 式部…294
 萩本 家義…296
 長谷川潤治…297
 長谷部俊一郎…299
 畑山 静枝…300
 原 桐子…301
 原 満三寿…302
 伴在 主計…303
 日置百合子…304
 日高 滋…305
 日鳥 章一…306
 東野 正…308
 彦坂 正…309
 平石三千夫…310

悲しみのイエス
 炎の舞
 青い星
 南十字星の海遠く
 花曇り
 牛の標準
 頌詩
 初潮
 薔薇の季節に
 柘榴
 螢火
 生命
 リフォーム(再生)特約店
 奈辺の月
 子供達を連れて街へ出かけた日
 額
 雨の中の妖怪
 白蝶
 旅へ
 友よ

廣瀬 幸子…310
 広瀬志津雄…311
 博川 亜樹…312
 府内 一夫…313
 福井 久子…314
 福士 一男…314
 福谷 昭二…315
 福永 栄子…316
 福永 一子…316
 藤 外美子…318
 藤井 祐子…318
 藤岡 正幸…319
 藤田志津子…320
 藤渕 欣哉…320
 藤本 孝子…322
 藤本 弘子…323
 古田 嘉彦…324
 星野由美子…325
 細矢 友子…326
 堀松 サチ…327

手は
セ、フィニイ
離婚の前の静けさ
斬る
風景Ⅳ
未練
花鉄が青く燃える
天地
彷徨
芸術
ゆくえ
海色のビー玉
愛に関するHの手紙
ポプリ
暮春
夜の電車
運河Ⅴ
真夏幻視
はなむぐり
転生

本郷 武夫…328
まかべさきを…329
まるやまきよ…330
牧野知鶴子…331
榎 さわ子…331
増子 冗児…332
増谷 佳子…333
榎谷 優…334
松岡 千尋…334
松下 一郎…336
松下のりを…337
松藤 和生…338
松本 一哉…340
松山 昌子…341
丸井 整子…341
丸田 礼子…342
丸山 勝久…343
みうらひろこ…344
三浦 浩代…344
三國朱鳥子…345

道
十四行詩 花
寿宝寺
泣く女
男と女の話
消燈ラッパ
神隠
むかしあった話
三つの世代
ある山の詩(剣岳)
炎日
みいやの夢
活字について
六月の湿った空を
あなた(貴女)…Ⅲ
タイムマシン
空・光・風
ソネット
柿
春の馬

三田 忠夫…346
三宅 節子…347
岬 木綿子…347
水野 麻子…348
水野 ひかる…349
水野 正巳…351
水橋 齊…352
瑞田 任…353
道元 隆…354
光辻 壽子…355
宮城 恒敏…356
宮崎 正孝…357
宮崎 由紀…357
宮田 恭子…359
むらふじ央…360
村尾 文緒…361
村上 周司…361
村田 耕作…362
村山 秀子…364
紫 圭子…364

捨て苗
 蒼い夜
 赤い実
 運命
 夏への序奏
 天は知る
 タクラマカンのあおい水
 その男
 芽立ちのある風景
 夏へ
 シンフォニー
 近隣挿話
 鉦仏
 霧りゆく日
 かむ
 終点
 ある情景
 祭り
 杉山

もりおか滋……365
 守屋ひでお……367
 森田 和夫……367
 森野 満之……368
 矢久保睦子……369
 谷田部和子……369
 安森ソノ子……371
 柳 裕……372
 山内 透……373
 山岡 和範……375
 山口 三智……375
 山口和歌子……376
 山田 寂雀……377
 山田 隆昭……378
 山田 ネミ……379
 山田茂里夫……380
 山野 一男……381
 山本 明子……382
 山本 敬子……383
 山本耕一路……383

邑
 止り木みたいな人生
 境界線
 一九八〇年の點
 霽雪
 ガルダイヤ
 醜聞
 戦争と平和
 古本
 コミュニケーション
 いたるところの知らない町で
 おかあさん
 遠ざかる日々
 とびら
 証言
 時計台・リラの月
 悲劇
 あだし野
 ある定理
 資料……407

あとがき……
 山本美代子……384
 大和 洋子……385
 結城 文……386
 雪原 立樹……387
 夢 見人……389
 よしかわつねこ……390
 義根 勲……392
 米田 味代……393
 林泉 杏子……394
 和田 元震……395
 和田 順……396
 若葉みどり……398
 若林のぼる……399
 若山 紀子……400
 渡辺 勝義……400
 渡辺 宗子……402
 渡辺 正也……403
 渡辺真美子……404
 上山しげ子……405
 458

作

品

例言

一、本詩集は全国各地の同人誌・詩誌・文芸誌の支持と協力のもとに完成された各地の代表詩人によるアンソロジーで、掲載作品は一九七九年七月から一九八〇年六月までに制作されたものです。

一、寄せられた一〇〇〇余篇の中から三九五篇を集録しました。作品は原則として作者名（筆名）の五十音順に配列してあります。巻末の作者紹介も同様です。

一、同人誌・詩誌・文芸誌の主宰者による推薦作品は原則としてすべて掲載されております。

一、第二回年刊現代詩集新人賞は本詩集及び80年版上半期、79年版の中から選出されます。発表は一九八一年二月上旬。本人通知、主要新聞紙上。（入選・賞状及び全賞金額二拾万円 佳作・賞状及び記念品）

汝はかなし

安芸信広

星二題

安土文子

おみなごよ 汝^なはかなし
すたれたる園に

すずな草 さきいで

二人のかたらいも

あわれ むなし

おみなごよ 汝^なはかなし

いずこにいきしや かの人々は

この園にありて歌いし

人々は：

ああ そのに てふてふ まえども

あたたかき 春のひざしさせども

すべて むなしや

むなしや すべて：

ペガサスの四辺形

仰ぐ 夜の海に

正方形の ロオプをはって

燦^{きら}めく ダイヤを

四隅に 置く

アンドロメダ が

それを ひっぱる――

たぶん

正方形の ロオプは

漁網 だろう

フォーマル ハウト

南魚座 フォーマル ハウト

南天 23° 低く ひくく
独り 秋を過ぎてゆく

淡いみなみの空に ポツツリと
暖かい輝やきと
己れを見つめる 燈火

夏を惜しむ 人の心に
一つの灯りを ともして
あんなに 低く行ってしまう

天空の大いさを 怖れながら
静かに南の空を よぎってゆく
フォーマルハウト

——いつか過ぎて行つた
五十年のように——

秋の夜は 長いのに
フォーマル ハウト

低く ひくく
昔の女のように
己れを抱いて 秋を去る

わがイドラ

安 保 賢 一

しろい山ひだにかこまれて こおりあがった碧空を映し
て

ゆるむ

昼さがりの

吸いこまれるようなお前の瞳……

永遠のおとめ

たつこ

はるばる噂をきいて

凍てついた心が解けて ふたたび春がめぐってくるのを

のぞみながら

たどりついたら

なまり雲をみだすおなの 枯枝をぬってふる かすかな